

# 2012 年度公開講座とオープン・クラス（公開授業） アンケート調査報告

仲 嶺 政 光

(富山大学地域連携推進機構生涯学習部門 准教授)



## I 公開講座アンケート

ここでは、2012 年度における富山大学公開講座受講者に対するアンケート集計結果を報告する。

今年度の公開講座受講者は述べ 1003 人であり、アンケート回答者は 536 人であった。回収率は 53.4% である。

### 1. 集計結果

図表 1 回答者の性別

	度数	パーセント
男性	164	30.6
女性	335	62.5
無回答	37	6.9
合計	536	100

図表 2 回答者の年齢

	度数	パーセント
20 代	28	4.3
30 代	63	11.8
40 代	100	18.7
50 代	117	21.8
60 代	165	30.8
70 代以上	52	9.7
無回答	11	2.1
合計	536	100

図表 3 回答者の職業

	度数	パーセント
フルタイム	135	25.2
パート	86	16
無職	212	39.6
学生	23	4.3
自営業	68	12.7
無回答	12	2.2
合計	536	100

図表 4 回答者の最終学歴

	度数	パーセント
高等学校	105	19.6
専門学校	53	9.9
短大高専	101	18.8
大学	237	44.2
大学院	27	5
その他	6	1.1
無回答	7	1.3
合計	536	100

図表 5 回答者の通学時間

	度数	パーセント
15 分以内	84	15.7
16-30 分	212	39.6
30 分 -1 時間	203	37.9
1 時間以上	31	5.8
無回答	6	1.1
合計	536	100

図表 6 サテライト公開講座受講経験

	度数	パーセント
0 回	355	66.2
1-5 回	108	20.1
6-10 回	17	3.2
11 回以上	7	1.3
無回答	49	9.1
合計	536	100

図表 7 公開講座受講経験

	度数	パーセント
初めて受講	208	38.8
1-5 回	246	45.9
6-10 回	57	10.6
11 回以上	23	4.3
無回答	2	0.4
合計	536	100

図表8 その他の講座受講経験

	度数	パーセント
0回	266	49.6
1-5回	193	36
6-10回	30	5.6
11回以上	18	3.4
無回答	29	5.4
合計	536	100

図表9 講座の難易度

	度数	パーセント
平易	16	3
やや平易	33	6.2
ちょうどよい	324	60.4
やや難解	107	20
難解	26	4.9
無回答	30	5.6
合計	536	100

図表1は回答者の性別をみたものである。男性164人(30.6%)、女性335人(62.5%)となっており、若干女性の方が多くなっている。

図表2は回答者の年齢をみたものである。60代(165人、30.8%)、50代(117人、21.8%)、40代(100人、18.7%)の順に多くなっている。図表10で性別との関連をみると、男性は60代以上が多く(108人、67.5%)、女性は40～50代が多くなっている(171人、52.0%)。

図表10 性別×世代

	男性	女性	合計
30代以下	19	71	90
	21.1%	78.9%	100.0%
	11.9%	21.6%	18.4%
40-50代	33	171	204
	16.2%	83.8%	100.0%
	20.6%	52.0%	41.7%
60代以上	108	87	195
	55.4%	44.6%	100.0%
	67.5%	26.4%	39.9%
合計	160	329	489
	32.7%	67.3%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%

図表3は回答者の職業についてみたものである。これは、何らかの職業を持つ者(フルタイム、パート、自営業)と持たない者(無職、学生)に大別される。前者は289人(53.9%)、後者は235人(43.9%)となっていて、やや有職者が多くなっている。

図表4は回答者の最終学歴についてみたものである。高校卒が105人(19.6%)、専門学校・短期大学卒が154人(28.7%)、大学・大学院卒が264人(49.2%)となっており、約半数が大学・大学院卒となっている。

図表5は回答者の通学時間についてみたものである。最も多かったのが16～30分以内(212人、39.6%)、続いて31～60分以内(203人、37.9%)となっている。

図表6～8は過去に公開講座を受講した回数をたずねた結果である。図表6でサテライト公開講座の受講経験をみると、一度も受講していない者がほとんどを占めている(355人、66.2%)。次に図表7で本学公開講座を受講した経験についてみると、「初めて受講」した者は約4割(208人、38.8%)となっている。最も多かったのは1～5回である(246人、45.9%)。続いて図表8でその他の公開講座の受講状況を見てみると、一度も受講していない者が最も多く(266人、49.6%)、1～5回の者が続く(193人、36.0%)。

図表9は講座の難易度についてたずねたものである。「平易」「やや平易」が49人(9.2%)、「ちょうどよい」が324人(60.4%)、「やや難解」「難解」が133人(24.9%)だった。

図表11は、公開講座を受講したことによって得られたメリットについてたずねたものである(複数回答可)。「複数で学んだ方が効果的」(225人、42.0%)、「知識を活用する機会が増えた」(227人、42.4%)などが多くなっている。

図表 11

	度数	パーセント
知り合いが増えた	161	30
活動範囲が広がった	106	19.8
知識を活用する機会が増えた	227	42.4
自分の成長を実感できた	153	28.5
複数で学んだ方が効果的	225	42

図表 12 は、公開講座を知ったきっかけについてたずねた結果である。最も多かったのが「大学からの郵便物 = DM」(264 人、49.3%)、続いて「Web サイト」(78 人、14.6%)、「知人を通じて」(76 人、14.2%) となっている。

図表 12

	度数	パーセント
新聞記事・折込	70	13.1
大学からの郵便物	264	49.3
知人を通じて	76	14.2
Web サイト	78	14.6
その他	58	10.8

以下は、自由記述に記載された内容である

- ・後期はできれば、水曜日に開講を希望します。
- ・本格的な講座があってもよい。
- ・ウェブページサイトを作成する講座を復活してください。
- ・夏休み、冬休み期間の講座があれば良いと思う。
- ・クラス内でレベルの差がありすぎたと思う。上級クラスとわけてほしい。
- ・レベルの高い人が参加されて難しくなったと思う。できればクラスが分かれたらありがたい。
- ・土曜日は駐車場が空いてない時があるので、なんとかしてください。行事がある時も空いていない。前の週に教えてほしい。
- ・変体仮名とともに、漢字の草書体がわからないとなかなか読めないと思いました。
- ・いろいろな知識とかを的確に教えてもらいま

した。また、最新の話も参考になりました。

- ・韓国での現地学習を希望します。
- ・昼間の講座を増やしてほしい。
- ・大学が開講する講座なので、信頼、安心感がある。
- ・カウンセリングを（心理学）を学んでみたい。
- ・このまま初級・中級…と同じ土曜日の昼間 <AM.PM どちらでも可> 開講してほしい。
- ・つぎの講座とのインターバルが長いので、補講とか特別講義があるといいです。
- ・イベントがある日は駐車場がいっぱいになっていて止められず、遠くにとめなければならなかった。事前に教えて頂きたい。
- ・大変よかったですので、もっと知りたいと思いました。
- ・自分の体のことを考え直す良い機会になりました。
- ・前期から継続して受講し、受講生間と先生の関係がより親密になりました。
- ・キタノ先生の講座をもっと増やしてほしい。
- ・父が介護が必要となり、セルフカウンセリングのような知識と実践内容の講座があれば受講してみたい。
- ・先生の食卓をのぞく気分で参加しました。より良い食材を集める、そのパッションに感激しています。
- ・段取りが良いのか悪いのかわからないけど、かわいらしい先生の人柄にも惹かれました。
- ・授業外で先生との交流の機会がもっとあればうれしいです。とても素敵なお先生でうれしかったです。
- ・希望者が多い講座について（例えば6人で締め切っている講座）定員を広げてほしい。
- ・もしできたら生徒による発表の機会があれば（個人ではなく）もっとよかったかも・・・。
- ・8回はアッと言う間に終わってしまいました。希望的には、週1回 計16回ぐらいあるといいかなと思いました。
- ・（若かりせばもっと学びたいが。）他大学からも講師をお招きしたい。（可能なら）

- ・採算がとれないものもあるかもしれないが先生方も忙しいかもしれないがつづけてもらいたい。
- ・富山大学の印象を高めることにもなる。
- ・講座の後のディスカッションがとても参考になりました。
- ・富山大学の学生も、もっと参加できるように、学内で宣伝をしてほしいです。
- ・普段は学生と社会人が交流する機会が少ないからこそ、より多く公開講座の機会を作ってほしいです。
- ・少し受講者が意見を言うといったものもあったら、もっと楽しいと思う。
- ・土曜日にもっとたくさんの講座があるとよいと思いました。また語学講座は定員をもっと増やしてほしいと思います。
- ・例えば心理学講座ですが、あまり専門的でなくてよいと思う。平常の心理関係、対人会話のあり方 etc. 平常、実践に即した講座を期待していた。
- ・心理学学問の専門的でなくてよい。再考されたい。
- ・社会人が自分の実務で活かせるテーマの講座を増やしてほしい。⇒都会と比べると学ぶ場が少ない
- ・今回いくつか受けたい講座がありましたが、時間が重なっていて1講座しか受けられなかったのが残念です。中学は土曜日に行事があり参加できないのです。
- ・1回あたりの講座の回数をふやしてほしい
- ・富大卒業生で活躍されている人を交えた公開講座だと楽しいと思う。
- ・実用化できる知識（学究された）が、おもしろい！
- ・初めて聞いたキーワードが盛りだくさんで、又今までと違う分野に興味がわきました。
- ・本をいただきありがとうございました。次回を楽しみにしております。
- ・このように気軽に受けられる期間（短期集中）の講座がたくさんあると良いです。
- ・今回は7日間の集中講義でした。昼間は仕事で夜に講座を受けるので、復習する時間が無かったです。
- ・集中講義は、忘れない内に次の学習に入れるメリットはありますが、週2回くらいで進むと、もっと理解しながらできたかなあ？と思います。わがまま言って、すいませんでした・・・
- ・ステップアップの講座を希望します。EX. エクセルのマクロの活用、パワーポイント、SEN・・・フェイスブック、ツイッターの活用など
- ・今日はありがとうございました。サポートチームの取組み、学校、地域、体験など大切な話を聞かせてくださったこと。今後の自分にいかしたいと思います。
- ・やはり、何かの当事者の生の声が聞ける講座がいいです。
- ・一度受講した後は、毎回お知らせをいただけるので抜けることがなく申し込めますが、はじめての方のためにもっと、新聞やテレビ、ラジオ、などでアピールしたらいいと思います。
- ・子供達へのサポートの講座の数や時間をもっと増やしてほしい。
- ・個人の趣味に止まらず、若い人達になにか寄与できる内容の講座があればもっとよい。
- ・ヘルン文庫は富山大学の誇る財産です。多くの県民に知られるようにわかりやすく楽しい広報活動をして頂きたいです。中学・高校の巡回展示は？
- ・今回の講座の内容組立、大変よかった。
- ・講師の方と交流があり楽しめました。
- ・インターネット、パワーポイントの初歩について知りたい。

## Ⅱ オープン・クラス（公開授業）アンケート

ここでは、2012年度における富山大学オープン・クラス（公開授業）の前学期受講生述べ173人に対するアンケート調査の結果を報告する（回答件数111件、回収率64.2%）。

図表 13 回答者の性別

	度数	パーセント
男性	70	63.1
女性	32	28.8
無回答	9	8.1
合計	111	100

図表 14 回答者の年齢

	度数	パーセント
20代	3	2.7
30代	1	0.9
40代	9	8.1
50代	14	12.6
60代	52	46.8
70代以上	30	27
無回答	2	1.8
合計	111	100

図表 15 回答者の職業

	度数	パーセント
フルタイム	18	16.2
パート	11	9.9
無職	68	61.3
学生	1	0.9
自営業	11	9.9
無回答	2	1.8
合計	111	100

図表 16 回答者の最終学歴

	度数	パーセント
高等学校卒	15	13.5
専門学校卒	3	2.7
短大・高専卒	7	6.3
大学卒	80	72.1
大学院卒	5	4.5
無回答	1	0.9
合計	111	100

図表 17 回答者の通学時間

	度数	パーセント
15分以内	8	7.2
16-30分	52	46.8
31-60分	42	37.8
60分以上	9	8.1
合計	111	100

図表 18 サテライト公開講座受講経験

	度数	パーセント
0回	69	62.2
1-5回	27	24.3
6-10回	5	4.5
11回以上	2	1.8
無回答	8	7.2
合計	111	100

図表 19 本学公開講座受講経験

	度数	パーセント
0回	36	32.4
1-5回	55	49.5
6-10回	12	10.8
11回以上	4	3.6
無回答	4	3.6
合計	111	100

図表 20 その他の公開講座受講経験

	度数	パーセント
0回	58	52.3
1-5回	39	35.1
6-10回	5	4.5
11回以上	2	1.8
無回答	7	6.3
合計	111	100

図表 21 オープン・クラスの難易度

	度数	パーセント
易しい	3	2.7
やや易しい	9	8.1
ちょうどよい	74	66.7
やや難解	20	18
難解	5	4.5
無回答	111	100
合計	3	2.7

図表 13 は、回答者の性別をみたものである。その結果、男性が 70 人 (63.1%)、女性が 32 人 (28.8%) となっており、男性が多い。

図表 14 は回答者の年齢をみたものである。60 代 (52 人、46.8%) が最も多く、70 代以上 (30 人、27.0%)、50 代 (14 人、12.6%) と続いている。図表 22 で性別との関連をみると、男性・女性とも 60 代以上が多い。

図表 22 性別×世代

	男性	女性	合計
30 代以下	1	3	4
	25.0%	75.0%	100.0%
	1.5%	9.4%	4.0%
40-50 代	11	11	22
	50.0%	50.0%	100.0%
	16.2%	34.4%	22.0%
60 代以上	56	18	74
	75.7%	24.3%	100.0%
	82.4%	56.2%	74.0%
合計	68	32	100
	68.0%	32.0%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%

図表 15 は回答者の職業についてみたものである。何らかの職業を持つ者(フルタイム、パート、自営業)と持たない者(無職、学生)にわけると、前者は 40 人 (36.0%)、後者は 69 人 (62.2%) となっていて、無職の割合が多くなっている。

図表 16 は回答者の最終学歴についてみたものである。高校卒が 15 人 (13.5%)、専門学校・短期大学卒が 10 人 (9.0%)、大学・大学院卒が 85 人 (76.6%) となっている。公開講座受講生よりも高学歴傾向が高い。

図表 17 は回答者の通学時間についてみたものである。16～30 分と 31～60 分以内がもっとも多く、あわせて 94 人、84.6% となっている。

図表 18～20 は過去の公開講座などの受講経験についてたずねたものである。サテライト公開講座を過去に受講したことがない者が最も多く (69 人、62.2%) 1～5 回受講した者が続く

(27 人、24.3%)。また、公開講座についてみると、1～5 回が最も多く (55 人、49.5%)、0 回がこれに続く (36 人、32.4%)。

図表 21 はオープン・クラスの難易度についてたずねたものである。「平易」が 12 人 (10.8%)、「ちょうどよい」が 74 人 (66.7%)、「難解」が 25 人 (22.5%) となっている。

図表 23 は、オープン・クラスを受講したことによって得られたメリットについてたずねたものである (複数回答可)。「一人より複数で学んだ方が効果的」(42 人、37.8%)「自分の成長が実感できた」(39 人、35.1%)「知識を活用する機会が増えた」(37 人、33.3%) などが多くなっている。

図表 23

	度数	パーセント
知り合いが増えた	23	20.7
活動範囲が広がった	12	10.8
知識を活用する機会が増えた	37	33.3
自分の成長が実感できた	39	35.1
一人より複数で学んだ方が効果的	42	37.8

図表 24 はオープン・クラスを知ったきっかけについてたずねた結果である。最も多かったのが大学からの郵便物 = DM (58 人、52.3%) であった。

図表 24

	度数	パーセント
新聞記事・折込	12	10.8
DM	58	52.3
知人を通じて	13	11.7
Web サイト	17	15.3
その他	11	9.9

以下は、自由記述に記載された内容である。

- ・40 才以上の年の差がある若い学生さんと一緒に受講させていただき有難く思います。講

義をどの様に学んでいらっしゃるのか皆さんの考えや意見を聞いてみたいなあとも思いました。

- ・ 事例に則った日本企業の実態、プロジェクトのビデオ等を使った多様な手段により事例など、起業論は示唆に富んだものであった。今後の方向についても現状からの予測・どう進んでいくかを一般法則を見出せればなど考えた。
- ・ 昨年後期の金融論Ⅱにおいて、数学の必要性を痛感したため、本講座を受け、改めて数学（微分）の基礎から50年前の教養課程の復習をやったものであった。基本的なことは一通りやって、予習・復習にも注力できたが、経済理論との橋渡しとなると未だに、の感あり。更なる研修の必要性を痛感させられた。
- ・ スタイルが決まってから授業の進歩がスムーズになった。マクロ経済の入口の入口のみであったのは残念だが、今後の勉強にとって良いきっかけを提供してくれたと思う。
- ・ スクリプトを一から読んだのは初めてであり、最終回のレポートまで一気に進められたという感じでした。いろんな経験をさせてもらい、発言の度に求められるコメントと先生の解説には、広範囲なもの見方、考え方のヒントを教えられ、その都度感心をするばかりでした。英語を読み込むことの難しさと楽しさを教えていただきました。
- ・ TOEICの勉強は文法の知識の基礎からの積み重ねの重要性を改めて教えていただきました。オープン・クラス対象を増やしていただければと思います。
- ・ 授業料を5000円くらいに値下げしてほしい。難聴なので、何らかの対処してほしい。
- ・ オープン・クラス or 公開講座には友人（中国人）も学びたい人がいます。その催しは連絡受けたい。学びたいがついてゆけるだろうか、我々の足の届く所ではないとか、そんな老人たちもいるのです。早くいえばカタイ。チラシ/ポスターのイメージを考えた？
- ・ 1. 今回は2回目の公開講座の受講となるが、前回と同様に学生達の受講態度が真面目なのに感心する。
- ・ 2. 現在森林インストラクターの受験に向けて勉強中であるが、本講座の受講により、

学問的なアプローチが少し理解できた。

3. ぜひ下期も受講したいと考えております。

- ・ 教授の深遠なる学識にふれることが出来て、大学で受講するよろこびを味わえた。
- ・ 文献史学を学ぶ者の基礎的な姿勢を教えられた。
- ・ 今後も関心のある講座を積極的に受講させていただきたく思っています。
- ・ 今回オープンクラスに参加させていただき有難うございました。20代前半以来の出来事でした。当時の参考資料等を開いて復習と新しいデジタル技術の勉強をさせて戴きました。後期のオープンクラスに参加したいと思っています。
- ・ 現役学生らが、平然と遅刻して入室してくる姿には驚愕する。加えて、彼らに対して教員が何の言葉もかけないのはいかがなものか。就活前の一片のマナー講座で社会人として順応していけるのだろうか？
- ・ 評価を気にせず、課題を背負うこともなく、フリーで座ってられるのは、この年代になってからことごとく有難いことです。サークル（部活？）もあるのですが、その活動の姿（実際）がみられないのは残念です。文字通り開かれた教室で違和感なく居させてもらいありがとうございました。幅広く、いろんな形での学びの場の提示があれば、又参加したいと思っています。
- ・ 大学生に活気が感じられなかったし欠席が多かったのが残念。先生はとても熱心で授業の内容も良かったです。
- ・ 大変すばらしいシステムで、現役の学生さんと学べるのはとても刺激になり、勉強になります。ただ、7月7日（火）が月曜授業に振り替えられると連絡が事務局よりなかったため、前の週に知ることができたことはできたので良かったのですが、申し込み時に教えていただければ、予定もたちやすく、ありがたいのですが・・・ご検討ください。
- ・ 授業開始後しばらくの時間を前回の復習、という形が多い。私のような高齢者にはありがたいが、富大の学生にそこまでのサポートが必要なのでしょうか。自分の学生時代を考えると違和感を持つことがあります。次に、他の方が書かれた本でも、自分流に教科書とし

て使われる先生は頼もしいと思いました。自分の著書（授業用にしか使われないと思う）にこだわらずに、学生に、自分流に説明させる。良いと思いました。

- ・生涯学習の機会、毎年（前・後期のオープンクラス）楽しく受講しています。今回全15回皆出席することが出来ました。毎回「週刊福祉新聞」のホットな話題を解説していただき、現代社会の福祉の問題点や重要性を学ぶことが出来ました。クラスは留学生も含め少人数10名以下で静かに集中した授業でした。Thank you for everything.
- ・今回の科目はPCの使用許可をもらえたが、全ての科目でレポート作成・資料調査にPCは欠かせません。科目がコンピュータ関係でなくても富大生と同じようにPC使用の許可が与えられればありがたいと思います。（オープンクラスは富大生と同じように学べると書いてあるので、PCの使用についても配慮していただければと思います。
- ・感想や質問を書く時間が少なく残念でした。（後日先生のレポートボックスなどに提出するのもよいのでは。もっともレポートボックスの置いていない先生もおられますが・・・統一されたらいかがでしょうか）スクリーンによる勉強は分かりやすく良かった。自分の名前が映しだされ、本当にうれしかったです。
- ・もっと活発に感想や意見を述べ合うと良い。（記述ばかりを重視するのも理解できますが・・・）10分程度の読書体験、研究発表の時間をつくるとよい。（知識が豊富になり、共有できるからです）一人の著者、著作あるいはテーマについて学生さんたちと学べる時間は至福のひとつです。感謝しております。
- ・老師は学生・社会人のどのレベルにあわせて講義するか、よく考えています。講義がほとんど日本語で行われていますが、できれば、ほとんど中国語で行ってほしい、せっかく中国人の老師なのですから。
- ・本来ならば、学生と社会人が同時に受講することで、刺激になったり緊張感が得られる効果があると思うが、実際はレベル差があり指導者は苦勞しているように見えます。自己主張の強い社会人もおり、講義の雰囲気のみだ

すことも散見します。基本は、学生の講義に社会人が参加させていただくという考えが必要だと思います。社会人の参加資格も一つ考えてはどうですか？

- ・1、総仕上げが確認できる受験日も含めた受講期間を設定してほしい。受講期間：～平成24年7月26日まで。試験日：7月30日。
- ・2、受講料をもう少し安くしてほしい。
- ・3、行動経済学は興味を持って受講できました。
- ・実例をもって授業を進めていただいたので、よく理解できました。
- ・他の語学科目に比べて、英語のオープンクラスが少ないと思います。ぜひ、受講できる科目を増やしてください。お願い致します。
- ・仕事上専門性が学べるので、オープンクラスに感謝しています。授業の中で最新情報も分かりやすく取り入れてあり、大変役立っています。オープンクラスの講座がもっと増えるよう、また希望を出し担当の先生の許可がおりたら学べると嬉しいのですが。
- ・若い学生の皆さんと一緒に受講できることがとても嬉しく楽しみです。学生の皆さんがとても大人しくまじめなのにも感心しています。先生もとても丁寧に説明され、知るこの喜びを感じています。
- ・未知への体験。鋳物や鍛金などそんなに関心はなかったが、初歩の事を手掛けてみて、美術館等に展示してある作品の細かな所まですこし目が届くようになり、その技法の秀逸さに驚くようになりました。手作業の面白さ、その変化の形、日本の伝統工芸は技法の継いで今日あることに思いを致しました。富山の誇りとしてこれからもオープンクラスを継続して下さい。また参加したいと思います。
- ・昨年来オープンクラス受講させていただきありがとうございます。出来れば、授業のみならず、例えば大学行事とかゼミとか多少でも関わらせていただければ良いのですが。また、日頃の恩返しにボランティアなど貢献できれば幸いです。
- ・2クラス受講したのもあって、レポートや宿題に追われ、きついなと感じることもありました。何とかのりきったという感じでしたが、とても楽しい時間でした。ありがとうございます



- ました。
- ・平成 23 年度前期より古文書学実習を受講させて頂きました。平成 24 年度後期まで受講させていただきます。2 年間弱の期間ですが、古文書学の深さが実感出来、又楽しさも実感出来ました。改めての要望・質問になりますが、更に深く学習致したく、古文書学のみ学習する方法はないものでしょうか。(富山大学にて) 申し訳ございませんが、以下にご連絡頂けますようお願いいたします。
  - ・今回の講義に限定すれば、こちらの理解に問題はあったと思いますが、もう少し”わかりやすく”教えてほしかった。興味ある課題だったので残念でした。資料も戴きましたが、参考文献又はテキストのようなものがあれば良かったと思います。
  - ・休講の連絡がなく、講義のときに知りました。先生にそのことを話すと 1 週間前からわかっていたとのこと・・・睡眠学の休講は携帯電話に連絡があり、助かったのですが。しかたなく、図書館によって帰りました。
  - ・ 1、試聴期間を 2 週間にしてほしい。
  - ・ 2、オープンクラスの生徒は、コロキアム(世界の映画)は自由に見られるようにしてほしい。(興味ある映画のみみたい)
  - ・ 3、一度オープンクラス生との意見交換会を開催してほしい。
  - ・バランスのよい講義構成で楽しめた。無理にタイトルや全体のテーマにしばられず、ホット・イシューや論点を深めていただいても講師の各先生にはよかったように思う。次回以降も、本学部や他学部の開催案内も送ってもらえると有難い。
  - ・ 1、理論の学者の先生は理論だけ、実務の北銀さんは実務だけ。理論と実務のつながりをもっと聞いたかった。
  - ・ 2、この程度は知って当たり前なんじゃないか、という話が多かった。しかし、かつて、自分も院生だったころは知らなかったわけだから、人のことは言えない。
  - ・授業によっては、やや難しい内容のものもありましたが、大学で研究されている先生がたや、企業経営者の現場の声など様々な切り口で勉強できたことは大変有意義でした。今後時代の変化に対応できる内容の授業が行われることを期待しています。有難うございました。
  - ・人口、雇用、労働問題。国際化の進展(これまでのオープン・クラスの延長戦で幅広く)例えば、T P P 問題(農業はもちろんですが、他の分野からのアプローチ)
  - ・ 1、延べ 7 日(17~18 時間)コースのうち 1/3 程度は下記のような、経済学の基礎的なものを学びたい。(昔学校で学んだことの整理のため)
    - (1)経済各論 (2)経済史 マルクス経済学、ケインズ、フリードマンなど
  - ・ 2、講座終了後に、講師の先生を囲んで、茶話会や懇親会をもうけたら如何。(世代間の意見交流のため)
  - ・内容充実していた。実業界の方の話をもっと多くした方が良かった。
  - ・出席率は 50%でしたが、仕事上の参考となり、また、刺激を受けた。
  - ・ 1、ブラッシュアップの為、いろいろな講座を探していたところ、今回のクラスを知り、大変良かったです。
  - ・ 2、土曜日の午前を利用した本セミナーのようなクラスがあれば今後も出席したいと思います。(他学部でも開催されているのであれば参加してみたいと思っています。)
  - ・今回はじめて公開授業を受けました。全部の講義が面白かったと云う事は出来ませんでした。しかしながら、それも当然と云うスタンスで受講していました。年齢的に、子どもに手がかからなくなって来て、自分の時間がもてるようになってきているので、機会があればまた受講したいと思っています。富山大学で公開講座をされていることは、なんとなく知っていましたが、全く講座の情報が得られていませんでした。もっと講座の情報が届くようにしていただけたら助かります。
  - ・(感謝しております)知識の向上や人としての成長を得る機会があれば入会し、気持ちの上では驕らず異聞を聞くことがあっても中に入らず自分自身を研ぎ恒心の心でいることだと最近思う事がありました。これからも続けていきたい。
  - ・質の高い授業を、良い環境(熱心な学生の事も含めて)で学べることに喜び、又、安心を

感じています。

アンケートの選択肢について、[2]の職業についてですが、3の無職という書き方はちょっと……。富山へ来て以来、以前の職業からは離れておりますが、ここに印をつけるのは、非常に抵抗を覚えました。(提出をやめようかと思ったくらいです。)他にどのような書き方があるかと思うと、なかなか難しいですが、(あくまで例ですが)たとえば、「その他[ ]」という項目でもあれば、書き易いです。これは、専業主婦や休職中の人に限らず、定年退職後に学んでいらっしゃる方々にとっても、ある意味同じことが言えるように感じます。

・教室について

出入口が1か所より使用できない教室は、災害時の事をどの様に考えてあるのでしょうか。冷房の管理(暑かった)。

・大変内容の濃い素晴らしい講義を聴講することが出来てとても良かったです。ありがとうございました。

・よい機会に出会って大変有意義に学習させてもらっています。

・いつも楽しく学んでおります。若い学生さんから、沢山のエネルギーをいただいています。先生、生徒さんに心より感謝いたします。このようなオープンクラスシステムは全国的に広まれば良いと思います。

### Ⅲ オープン・クラス (教員向け) アンケート

ここでは、2012年度における富山大学オープン・クラス(公開授業)の授業担当教員に対するアンケート結果を掲載する。

#### [1] オープン・クラスの授業形態

- ・学生への講義の中で市民にもサービスを提供できる。市民がいることで学生にも刺激になる。
- ・別に違和感はないが、毎年のことながらオープン・クラスに参加する受講生の方が、在校生よりレベルが上なので(とりわけ前期は)、レベルを在校生にあわすのでオープン・クラスとしての受講生のニーズを満たしているかどうか心配である。
- ・現状でよいと思います。ただし、将来、人数が増えた場合、別の方法を考えるべきかもしれません。
- ・今回参加されたお2人は非常にモチベーションが高く、しっかり受講されていました。制作された作品が、同じ授業を受けている1年生に少なからず刺激を与えているように感じています。
- ・良い試みであると考えます。学生たちが同年代の仲間意識から幅広い人間層の中で自分たちをとらえられると思います。
- ・よいと思う。本学学生にとっても有意義である。
- ・年輩の方が多いのですが、熱心な学習態度が学生の刺激になって良いと思います。いろいろな方との出会いも個人的には楽しみにしています。
- ・現在の形態に、特に問題があるとは思えません。
- ・大勢の授業なので、一般市民の方には十分な対応が出来なかったのではと思います。
- ・熱心に受講していただいております。講義する側としては問題はありません。ただ、講義時間内に小テストなども行うため、オープンクラス受講者(小テストは課していません)にとっては、小テストなどの時間は無駄に感じられ

るかもしれません。

- ・一般市民の方は向上心がつよく、ゼミだと特に積極的に発言してくれるので学生への刺激にもなり、良い景況を学生に与えてくれているのではと思う。カルチャーセンター化してるけど、またいいんでないかと思う。講義の方は分からない。
- ・一般市民の生活体験に根差した質問や意見が学生にとっては学習の上の刺激になってよい。
- ・授業中は静かに勉学に励んでいるが、講師入室前の騒がしさは、聴講される一般市民に対して少々恥ずかしい。学生にもう少しマナーをもたせる必要を感じている。
- ・オープンクラスの受講者には、受講の条件を予めよく理解して頂くことが大事だと感じました。今回の私の授業の受講者には他の一般学生と同じ小テスト、レポートを課しましたが、真面目に取り組んでくれました。受講者の質にもよるとは思いますが、今回は特に気を使わずに授業を行えたと考えます。
- ・向学心の強い一般市民の参加は、本学学生の刺激になって良い。ただし、近年韓国関係は向学心よりおしゃべりが目的の場合があり、その時は逆効果になる。
- ・特に問題はありますが、講義内容については、学生も合わせて、ある程度のレベルを保つ必要があると思います。

## [2] オープン・クラス全般

- ・地域の中の大学・開かれた大学としての立場を明確にするならば、もっと積極的に広報活動を展開しても良いのではないかと思う。
- ・クラス受講の動機を書いてある申込書は、担当教員にもコピーを配布してほしいです。(サインだけして戻しました。)
- ・同じ授業を2回、3回と受講されている方々がおり、構わないのですが、前回と同じ内容などがあると、講師の側がやや恐縮してしまったりしました。
- ・オープン・クラスは賛成ですが、やはり気を遣います。高校生の受講も同様です。
- ・オープン・クラスの受講生アンケートというものはあるのでしょうか？満足度が知りたい

です。

- ・受講者の方だとおもわれますが、自転車を指定外の場所にとめる方がいらっしゃるようです。パンフレットの文言に加えていただければ幸いです。
- ・オープン・クラスを通じて、地域と大学の関係が強まれば望ましいと思われれます。
- ・少人数のあまり専門的でない授業を受講していただく様に考えて頂ければ良いかとも思われます。
- ・オープン・クラスについてはひきつづきその存在を広くアピールして下さい。
- ・積極的にふやしてほしいと思います。
- ・聴講者の受講目的や関心事項に関する情報があると、もう少し意に沿った内容対象も盛り込めると思う。
- ・今学期の受講生は学習歴も長く大変良い印象を本学学生に与えてくれた。ただし、毎学期このような受講生が望めるわけではない。

## [3] 生涯学習支援授業全般

- ・今回の受講者の中に、市民講座からフランス語が消えたため受講したという人がいた。放送大学ではないにしても、市民講座、オープン・クラスを含めたトータルとしての知を提供することに努めてほしいと思う。
- ・単位として認定するような制度にしてはどうか…数年開講していますが、最後の評価(試験)は受講されない人が多く、せっかく講義を受けているのに残念に思います。
- ・公開講座の展示が毎年ありますが、その時にオープンクラスの方の作品を展示してあげてもいいかもしれませんね。
- ・「～市民大学」の類と差別化を図るために、もっと大学独自の特色を出すべきではないか？
- ・英語BはPCやALCを使用するため余計な手続きが必要となりお手数をおかけしています。
- ・大学初学年用の講義は全て対象にして、もっとアナウンス・宣伝し、聴講者を増やしても良いように思う。

## IV おわりに

以上、公開講座とオープン・クラス（公開授業）のアンケート結果をみてきた。そこであらわれてきたいくつかの特徴・問題について述べたい。

- ① 公開講座への参加は女性が多く、公開授業は逆に男性の方が多い。この点はどのような解釈が可能だろうか。公開講座の細かいジャンル分けと参加者の性別を比較検討する必要があるように思える。
- ② オープン・クラスアンケート回答者の世代が60代以上を中心としている点は、若い層が職業を持つために参加が難しいということが背景にあるものと思われる。
- ③ 講座・講義内容の難易度についてみると、「難解」とする回答が、公開講座で24.9%、オープン・クラスで18.0%にのぼっている。ただ、難解さがある程度持つことが大学での生涯学習の特徴であるとも言えよう。
- ④ 語学講座で個別の要望があった点だが、「夏休み・冬休み期間」に学習が途切れてしまうという問題が指摘されている。「次の講座とのインターバルが長い」。改善方法についての模索が必要であろう。
- ⑤ これと同類の問題点として、講座のレベル設定ということがあげられる。「レベルの高い人が参加されて難しくなった」「ステップアップの講座を希望します」などという声もあり、ちょうどよいレベルの講座をどう設定すればよいのか、課題が残る。
- ⑥ 「大学が開講する講座なので、信頼、安心感がある」「富山大学の印象を高めることになる」などの声があった。公開講座開講の意義を再確認させられるものである。
- ⑦ PRの課題がある。公開講座、オープン・クラスとも、約半数が大学からの郵便物、すなわちDMで講座の情報を得ている。他にもっと効率のよいPR方法はないかどうか、検討する必要があるのかも知れない。
- ⑧ 「授業料を5000円くらいに値下げしてほしい」「受講料をもう少し安くしてほしい」などの声があった。厳しい財政状況の中ではあるが、のぞましい受講料設定のあり方を検討

する必要がある。

- ⑨ 「一度オープン・クラス生との意見交換会を開催してほしい」「講座終了後に、講師の先生を囲んで、茶話会や懇親会をもうけたら如何」という声がある。そのような行事の開催について検討すべきであろう。
- ⑩ いくつかの課題はあるものの、オープン・クラスの担当教員からは多くの好評価をいただいている。異なる世代の学びが互いに刺激を与えている側面もあろう。